

レインボウ

オープン
Open



11月2日、駅南庁舎に、障害のある人たちが仕事に取り組む福祉の店「レインボウ」がオープンしました。このお店では、コーヒー、ジュース、軽食をはじめ、福祉施設などで作ったテーブルセンターなど手作りの品々を展示販売しています。

▷開店時間 午前10時～午後5時
▷定休日 土、日、祝日、年末年始
☎(0857)20-3498

オープンのあついで一言

福祉の店レインボウ代表 丸井 秀夫さん



障害者が社会の人と触れあい、そして障害者の社会参加に向けた実習の場にしようと、市内の障害者団体が力を合わせてこの店を運営しています。

みなさんに、障害のある人も社会の一員として働くことができるということを認識していただき、もっと障害者への理解を深めていただきたいと思います。

低料金でおいしいコーヒーや軽食などをご用意していますので、是非みなさんご来店ください。



みんなの手組んで広げる福祉の輪

12月3日 9日は 障害者週間です

鳥取市は、平成元年に福祉都市を宣言し、障害のある人や高齢者など全ての人に優しいまちづくりをめざしています。そのためには、一人ひとりがそれぞれ相手の立場にたって考えることが大切です。みなさんも「障害者週間」をきっかけに、だれもが尊重され安心して暮らせる福祉都市へ向けて家庭や地域、職場、学校で考えてみましょう。

医療通信

Vol.20

小児の冬の病気について



中井 正二
市立病院診療部副部長（小児科）

寒くなると、子供さんの風邪が増えてきます。その中でも、冬の感染症の代表としては、インフルエンザと感冒性胃腸炎があります。

インフルエンザは、急に高熱がでて、全身倦怠、関節痛、咳などの症状がみられます。合併症として、中耳炎や肺炎、時に脳炎（脳症）でけいれん、意識障害などをおこすこともあります。ワクチンなど予防が大切ですが、かかったら早めに治療を受けるようにしましょう。抗ウイルス薬を早期（発熱後48時間以内）に使うと、症状は比較的軽くすみます。その他、水分補給をしっかり行い脱水症を防ぐことが大切です。また、解熱剤の種類によっては脳症の危険性が増しますので、安易に使用せず、医療機関へ相談して下さい。

感冒性胃腸炎は、ロタウイルスなどによる胃

腸症状で、嘔吐で始まり、その後下痢症状がでます。特にロタウイルスの場合には白色調の酸っぱい臭いの下痢になり、白色便性下痢症とも言われます。嘔吐や下痢による脱水症を合併しやすく、元気がなく尿量が少ないなどの症状があれば早めに受診をしましょう。スポーツ飲料などを少しずつ補給し、食欲が出てくればお粥などを少量から開始します。

これらの感染症を予防するには、うがい手洗いの習慣化や、規則正しい生活、室内の換気などに気をつけましょう。

インフルエンザの予防には、予防接種も大切です。当院でもインフルエンザの予防接種を行っています。早めにお問い合わせを。

■問い合わせ先
鳥取市立病院総務課 ☎(0857)37-1522